

## ＜パネリストプロフィール＞

### ・柴田 俊一氏（NPO法人コミュニティ・カウンセリング・センター副理事）

1957年生まれ。浜松市の職員として27年、母子保健・児童福祉関係の業務に携わる。臨床心理士として、相談業務の傍ら虐待予防の観点から、カナダから導入されている親支援プログラムのNobody's Perfect (NP)「完璧な親なんていない」の展開を行う。各地でファシリテーターの養成をする。行政分野の仕事としては「エンゼルプラン」、「次世代育成支援行動計画」の策定を担当する。家庭児童相談室、子育て家庭支援センター、浜松市児童相談所児童心理司などを経験する。平成21年より常葉大学健康プロデュース学部 こども健康学科・大学院臨床心理学専攻 准教授/臨床心理士

### ・田熊恭子氏（NPO法人親支援プログラム研究会 代表）

保育園に勤務後、子育てが一段落したところで非常勤保育士、療育グループスタッフとして勤務しながら子育て支援に関わり始める。地域の主任児童委員、行政の子育て広場スタッフを経験。親支援、子育て支援のプログラムの資格を取得し、子どもを育てることについて考えた支援の活動を現在進行中。平成20年12月 NPO法人を仲間と設立し、支援の広場、子育て中の親を対象とした講座を行っている。また、支援者向けに虐待予防プログラムの指導者を養成する講座や研修会を企画し実施している。

### ・千々布敏弥氏（国立教育政策研究所総括研究官）

1961年12月長崎県生まれ。1990年九州大学大学院博士課程中退、文部省入省。その後私大教員を経て、1998年に国立教育研究所（現・国立教育政策研究所）。07年より総括研究官。2000年の間、内閣内政審議室教育改革国民会議担当室併任。03年の間、米国ウィスコンシン州立大学へ在外研究、13年カザフスタンナザルバイエフインテレクチュアルスクールにて授業研究アドバイザー。教員免許更新制の導入に関する検討会議委員、学校評価の推進に関する調査研究協力者会議委員、学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する調査研究協力者会議委員などを務める。単著「日本の教師再生戦略」教育出版 2005、「スクールリーダーのためのコーチング入門」明治図書2007

### ・藤江 陽子氏（文部科学省男女共同参画学習課長）

大学卒業後、韓国ソウル市の延世(ヨンセ)大学に語学留学。帰国後、韓国観光公社東京支社等の勤務を経て、財団法人松下政経塾に14期生として入塾。在塾時より、開善塾教育相談研究所長、金澤純三氏に不登校・ひきこもりの訪問相談の実際を学び、現在に至る。主な委員としては、04年 杉並区子育て委員、08年 埼玉県高校中退対策マニュアル作成委員、09年4月～2010年3月神奈川県藤沢市教育委員、10年4月～2011年3月神奈川県藤沢市教育委員長、11年4月～13年3月神奈川県藤沢市教育委員、11年7月～ 文部科学省「公立義務教育諸学校の学級規模および教職員藩地の適正化に関する検討会議委員」、12年10月～ 文部科学省 いじめ問題アドバイザー、13年12月～ 埼玉県教育委員。

### ・藤崎 育子氏（開善塾教育相談研究所 相談部長）

大学卒業後、韓国ソウル市の延世(ヨンセ)大学に語学留学。帰国後、韓国観光公社東京支社等の勤務を経て、財団法人松下政経塾に14期生として入塾。在塾時より、開善塾教育相談研究所長、金澤純三氏に不登校・ひきこもりの訪問相談の実際を学び、現在に至る。主な委員としては、04年 杉並区子育て委員、08年 埼玉県高校中退対策マニュアル作成委員、09年4月～2010年3月 神奈川県藤沢市教育委員、10年4月～2011年3月神奈川県藤沢市教育委員長、11年4月～13年3月神奈川県藤沢市教育委員、11年7月～ 文部科学省「公立義務教育諸学校の学級規模および教職員藩地の適正化に関する検討会議委員」、12年10月～ 文部科学省 いじめ問題アドバイザー。

## ＜基調講演・コーディネータープロフィール＞

### ・大江 弘 氏（親の学び・親育ち支援ネットワーク 運営担当代表）

1986年、富山大学文学専攻科哲学コース修了。同年、PHP研究所に入社。普及部、研究本部第一研究部、研修局研修部を経て、2000年3月から総理大臣の私的諮問機関「教育改革国民会議」担当室主幹として教育改革に携わる。01年2月、第一研究本部松下理念研究部主任研究員。05年9月～07年3月、枚方市「教育のあり方を考える懇話会」委員（副座長）。09年～13年3月、京都府子育て支援対策協議会委員。06年12月～13年5月、親学推進協会常務理事。現在、経営理念研究本部研究業務部長および京都府子育て支援審議会委員（13年8月～）。近著『松下幸之助に学ぶ 強運を引き寄せる言葉』など

**親が学び、子どもが学び共に成長するなかでこそ 親子の絆がしっかりと結ばれ、  
基礎となって 親と子、教師、社会の幸せをつむぐ豊かな家庭教育が実現します  
親子の笑顔あふれる家庭、学びの場の実現を私たちは応援します！**

**親の学び・親育ち支援ネットワーク**

